

二十歳の集い実行委員



(第1部・敬称略)
(後列左から)豊内暁斗、湯浅卓葵
(前列左から)柳坂実良乃、森川風花、中島斗亜



(第2部・敬称略)
(左から)岩佐真夏花、長坂舞、西内碧莉、
八原彩乃、竹垣正輝



令和7年阿南市二十歳の集い

1月12日、晴れ渡る空の下、夢ホール（文化会館）で「令和7年阿南市二十歳の集い」が開催されました。今回の該当者は、平成16年4月2日から平成17年4月1日生まれの方で、647人のうち534人が出席し、大人の第二步を踏み出しました。

式は、第1部（該当地区・富岡・中野島・宝田・長生・大野・加茂谷・見能林）と第2部（該当地区・桑野・橋・棒・新野・福井・那賀川・羽ノ浦）の2部制で実施。主催者挨拶で岩佐市長は、「恩返しと同時に恩の先送りをする人にな

ってほしいと願っています。それを受けた人がさらに恩を返し、たくさんのお恩や親切へと広がっていきます。生まれ育った阿南に誇りと愛着をもち、新しい時代を切り開いていくことを期待し、皆さんの未来が輝かしいものとなることを祈念しています」と激励されました。

式終了後には、芸人のみつとしーとバイク川崎バイクがサプライズ登場。会場を大いに盛り上げました。出席者は、仲間との再会を喜び、写真を撮り合うなど旧交を温めていました。



二十歳の決意（要旨抜粋）



穂田 実咲さん
(第1部)

私たちはこの自然豊かな阿南市に生まれ、早二十年前が経ちました。無事に二十歳の成人を迎えられたことをとてもうれしく思うと同時に、生きていくことや当たり前だと思っていたことの大変さ、今後の大人として課せられる責任の重大さを痛感しています。

私は、高校を卒業後、イラストレーターになるために、京都府にある専門学校へ進学しました。学業も日常生活も両立できるよう、一生懸命に頑張っていました。心身ともに疲弊してしまっ



新見 仁さん
(第2部)

私たちはこの阿南市に生まれ、地域の方々や家族からたくさん愛を受け、二十歳という大きな節目を迎えることができました。振り返ると、苦しいこともたくさんありましたが、それを乗り越えることができたのは、ひとえに周りの方々の支えがあったからだと思います。私は大阪府の大学に進学し、法律学を学んでいます。そんな私ですが、実は大学入学時は法曹をめざすつもりはありませんでした。漠然と自分には無理だと思っていたからです。

校そのものに行けなくなり退学という形になってしまいました。

一人で生きていくことの大変さや自分が思っている当たり前は本当はものすごく難しいことであり、いろいろな人たちに支えられていたからこそできていたことであると痛感しました。私を力強く温かく支えてくれた家族や友人、地域の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。今後、支えてくださった全ての方への感謝の気持ちを忘れずに今後に向けて日々努力を重ねていきます。今日の決意と感謝の気持ちを忘れることなく努力していくことをここに誓い、二十歳の成人代表の言葉とさせていただきます。

大学2年生になり、将来について真剣に考え始めたとき、決断の指針となつたのは高校時代担任だった先生の「迷ったらしんどい方を選びなさい」という言葉でした。この言葉は、「一見困難に見える目標に対して強い気持ちで努力することにより、覚悟が高まり、才能が開花するのだ」という趣旨のものでした。それ以来、挑戦を恐れず、後悔のない選択をするという姿勢は、大きな決断をするうえで自分の軸になりました。最後になりますが、多くの方々に支えられて今日という日を迎えることができました。皆さまへの感謝の気持ちを忘れることなく、日々精進し続けることをここに誓い、成人代表のあいさつとさせていただきます。